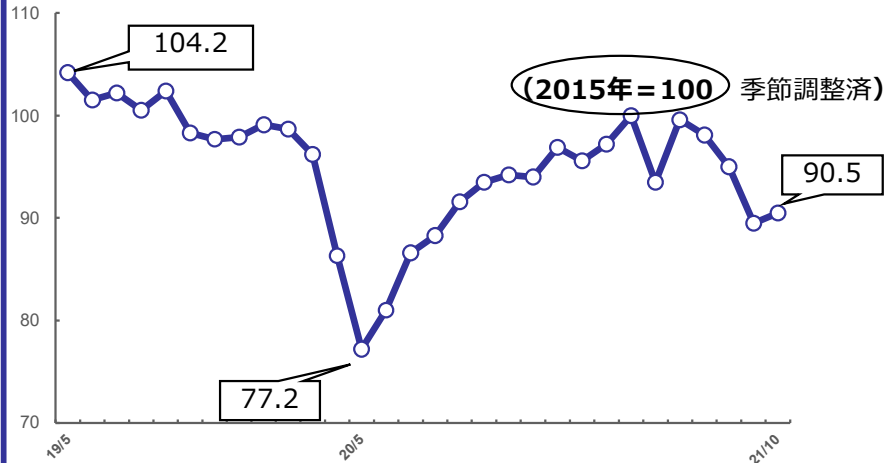


# 静岡県産業成長戦略2021 の主な取組



# 本県の経済情勢

## 10月鉱工業生産指数（全国）（速報）



前月比1.1%の増加で、**90.5**  
 経産省の基調判断は「生産は足踏みしている」と、3ヶ月連続で同評価。

- ・上昇した業種（8業種）  
 自動車(15.4%)、輸送機械(自動車除 9.1%)、生産用機械(4.2%)、汎用・業務用機械(3.2%)、石油・石炭製品(2.7%)、電気・情報通信機械(1.1%)、その他(0.7%)、プラスチック製品(0.6%)  
※いずれも前月比
- ・低下した業種（6業種）  
 無機・有機化学(▲3.3%)、鉄鋼・非鉄金属(▲2.3%)、化学(無機・有機化学・医薬品除▲1.5%)、金属製品(▲1.3%)、窯業・土石製品(▲1.1%)、電子部品・デバイス(▲1.0%)
- ・横ばいの業種（1業種） パルプ・紙・紙加工品(0.0%)

## 静岡県金融経済の動向（11月）

項目		前月からの変化	今月の評価
全体判断			持ち直しの兆しがみられている
需要項目別の動向	個人消費		供給制約などの影響を受けている一部品目を除き、持ち直しつつある
	公共投資		高水準で推移している
	設備投資		持ち直している
	住宅投資		幾分持ち直している
	輸出		輸送用機械を中心に増勢が鈍化している
生産、雇用・所得、物価の動向	生産		持ち直しの兆しがみられている
	雇用・所得		労働雇用：改善傾向にある 雇用者所得：悪化している
	物価		前年を下回っている

### ○景気判断

「新型コロナウイルス感染症や供給制約の影響が徐々に和らぐもとで、持ち直しの兆しがみられている。」  
 （11ヶ月ぶり上方修正）

- ・個人消費はコンビニエンスストア売上高と旅館・ホテルの宿泊客数を上方修正（2ヶ月連続）
- ・生産は自動車・同部品、はん用・生産用・業務用機械、紙・パルプを上方修正

### ○日銀静岡支店長コメント（11/15）

「経済回復へ明るい兆候にあるのは確か。だが、コロナ前の水準に戻るかどうかはまだ見通せる状況にない。」

# フジノミクスの展開

## ○新たな広域経済圏「山の洲」の形成

### ✓農林水産品の販路開拓

- ・「バイ・ふじのくに」物産展（静岡伊勢丹 7/7-12 来場約8,000人）
- ・スーパー「オギノ」静岡フェア（7/29-8/1 38店舗）

### ✓新たな流通体制の構築

- ・静岡市中央卸売市場から量販店物流センターまでの青果物商流・物流ルートの構築（定期便1-2便/週）



スーパー「オギノ」

- ・山梨、長野県向け鮮魚等の流通システム構築、需要先開拓：  
需要先7件、漁協等の出荷者12件（R3.10月末）



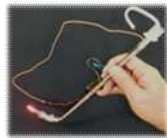
鮮魚流通試験の様子

- ・清水港を使った高規格コンテナでの青果物の輸出実証（国交省委託）

## ○リーディング産業の育成

### ✓医療機器開発支援

- ① 参入時の初期投資支援 R2:17件、R3:12件
- ② ①から継続する事業化支援 R3:4件



開発助成例：  
新型気管挿管補助機器

### ✓先端産業創出プロジェクトの展開

- ・ファルマ:健康長寿・自立支援プロジェクト（3歩の住まい）  
製品開発のアイデアを生み出す場として活用
- ・MaOI:データプラットフォーム「BISHOP」公開（R3.5月）  
海洋観測情報や微生物情報をオープンデータ化



モデルルーム  
（3歩の住まい）

# デジタル化の推進 （ICT人材の確保・育成等）

## ✓TECH BEAT Shizuoka for Blue and Green Economy （農林水産業・海洋分野）

- ・開催日：R3.8.30
- ・実績：参加登録692人  
延べ視聴回数2,494回
- ※全体版 R4.1月25-26日開催予定



オンライン配信の様子

## ✓IoT推進ラボ（サテライト）

- ・浜松・沼津工業技術支援センターに整備（R3.11月）
- ・「IoT大学連携講座」にも活用



## ✓ICT企業人材の育成

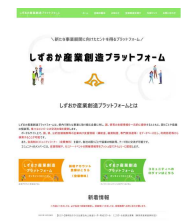
- ・経営者向けDX講座  
経営者層・現場管理者がセットで参加  
実績：12社・24人（R3.9月実施）
- ・大学等と連携したICT関連講座  
静岡大学（3講座、9-10月実施、参加94人）  
県立大学（5講座、7-12月実施、定員130人）  
沼津高専（1講座、7-8月実施、参加36人）

## ✓ロボットシステムインテグレータ（SIer）研修

- ・対象:SI事業に取り組む企業、SI人材の育成を目指す企業
- ・実績:基礎-10月19人、上級-12月予定

## ✓デジタル技術を活用した企業参加型コミュニティ

- ・補助金情報等の一元的な提供と、チャットルームでの企業や産業支援機関等、様々なメンバーによる交流のためのコミュニティを創設  
（R3.10月～テスト稼働12月オープン予定）



# 脱炭素型産業構造への転換

## 次世代自動車

### ✓次世代自動車の電動化・デジタル化等対応研究会 (R3.6月設立)

- 自動車関連企業、通信事業者、学識経験者、支援機関など 計22名
- 4回実施 (R3.11月 報告書取りまとめ)



### ✓企業連携ワークショップの開催 **9月補正**

- 大手サプライヤー、中小企業等による4つのワークショップを開催。系列を超えた企業間連携による新製品の開発や新分野でのイノベーションを後押し

	①	②	③	④
WG	電動化・カーボンニュートラル	3Dデジタル技術	積層造形技術	次世代モビリティ

### ✓次世代自動車センター浜松と協働した 中小企業の技術開発・研究開発支援

- 固有技術探索、EVの分解研修、試作品開発等への支援
- 実績：試作品製作7件 など



## エネルギー分野

### ✓エネルギー総合戦略の改定 (R4.3月公表予定)

- 4つのテーマに沿って内容を検討
  - ①再生可能エネルギーの導入拡大
  - ②産業活動の脱炭素化
  - ③二酸化炭素の吸収源対策
  - ④省エネの推進

### ✓ふじのくにFCV普及促進協議会によるFCV普及及び水素ステーション整備の促進

- FCVを活用した外部給電デモ(R4.1-2月実施予定)
- 県内4-6基目となる水素ステーション整備への支援  
浜松市内 (R3.8月稼働)、沼津市内、東名高速足柄SA内



次世代自動車による外部給電デモ

## 中小企業経営支援

### ✓県制度融資による資金繰り支援

- 新型コロナウイルス感染症対応枠など、R3融資枠500億円 2,640件 276億円の申込 (R3.11月末)

### ✓デジタル技術を活用した業態転換等への支援

- 中小企業デジタル化・業態転換等促進補助金
- 採択実績：1,030件、約16億円 (R2～)

### ✓創業・ベンチャー支援

- 大学の研究シーズと県内企業の技術のマッチングを図る「ラウンドテーブル」開催 (10/7,25 参加者18名)
- 地域の社会的課題をビジネスの手法で解決する起業支援 R3:37件



## ✓経営革新計画の促進

- ・経営革新計画承認件数  
R2:702件、R3(10月末):324件
- ・計画実現に向けた助成  
採択件数 R2:152件 R3:167件  
上限額 5,000千円ほか



独自開発したマグネット化粧板  
(経営革新優秀賞)

## ✓事業承継の推進

- ・事業承継計画策定支援 2,137件 (R元年度~R3.10月累計)
- ・県内商工団体、金融機関とM & A大手企業が連携し、  
第三者承継 (特にM & A) の支援強化
- ・県制度融資による事業承継実行時の資金繰り支援  
H28~ 131件 約58億円 (R3.10月末)

## ✓BCPの策定支援

- ・県内4地域で実践的なセミナー開催  
10-11月 4回実施 参加者67人、1-2月 4回実施予定
- ・商工会議所等と連携した個別相談会  
9-11月 27回実施 相談80件、12月~ 23回開催予定
- ・県中小企業団体中央会と連携。業種別組合等でのワークショップ  
派遣先 H30~ R2:70組合、R3(11月末):14組合

## ✓コロナ禍で大きな打撃を受けた観光産業の回復

- ・ふじのくに安全・安心認証 (宿泊施設) 制度の推進  
認証件数: 1,475件 (R3.11月末)
- ・「バイ・シズオカ~今こそ!しずおか!!元気旅!!!」  
による県内観光の促進事業の延長 (R3.12.27まで)



## ✓観光デジタル情報プラットフォームの利活用推進

- ・観光施設情報等のオープンデータ化  
登録施設情報数: 8,862件 (R3.11月末)
- ・DMO、観光関連事業者向けセミナーの開催 (R4.1月予定)

## ✓観光地におけるワーケーションの受入促進

- ・モデル事業として、県内4地域で137泊の受け入れを行い、  
課題や受入に向けた方向性を市町と共有 (R3.6.29)
- ・受入環境の整備支援  
支援件数: 8市町、37施設 (R3.10月末)
- ・プロモーション用WEBサイトの公開 (R3.10.19)



## ✓次期「観光基本計画」の策定 (R4.3月公表予定)

- ・ポストコロナ時代の方向性について、以下の3つの重点化を検討
  - ①ガストロミー (食文化) ツーリズム、歴史・文化ツーリズムなど、  
サステナブルなツーリズムの推進
  - ②SDGsに貢献できる持続可能な観光地域の形成
  - ③観光DXの促進